



平成29年10月13日

各 位

社 名 株式会社 プラップ ジャパン
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 勇夫
 (JASDAQ・コード番号: 2449)
 問い合わせ先 経営企画室広報IR担当部長 清宮正行
 (電話03-4580-9111)

平成29年8月期業績予想値と実績値の差異 及び配当予想(増配)の修正に関するお知らせ

平成28年10月14日に公表しました平成29年8月期(平成28年9月1日～平成29年8月31日)の業績予想数値と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。また、配当予想を下記の通り、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の差異について

平成29年8月期通期連結業績予想数値との差異(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,676	百万円 697	百万円 694	百万円 404	円 銭 101.23
今回実績(B)	6,591	819	810	439	109.90
増減額(B-A)	915	122	116	34	
増減率(%)	16.1	17.6	16.8	8.6	
(ご参考) 前期実績 (平成28年8月期)	5,418	655	650	379	

平成29年8月期通期個別業績予想数値との差異(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,656	百万円 511	百万円 374	円 銭 93.73
今回実績(B)	3,986	525	394	98.74
増減額(B-A)	329	13	19	
増減率(%)	9.0	2.7	5.3	
(ご参考) 前期実績 (平成28年8月期)	3,549	496	361	

差異発生理由

(連結)

平成29年8月期におきましては、当社は、既存クライアントとの契約継続やスポット業務の受注を積極的に進めるとともに、増加傾向にある新規引き合いにおいて、新規クライアントからのリテナーおよびスポット業務の受注獲得に注力してきました。

新規リテナー業務に加え、消費財系の既存クライアントから受注したデジタル領域の施策を含む大型スポット業務や期初に予定していなかった危機管理広報コンサルティング案件など、前期を上回る受注件数を獲得するなど、売上が堅調に推移し、収益拡大につながっています。

特に、期初から立ち上げたデジタル戦略グループにより、デジタルPR案件の新規受注とサービス開発の強化を進めた結果、デジタルPR関連の売上が期初の予想から大幅に増加、既存メディアからデジタルメディアに至るまでの包括的かつ戦略的なサービス提供が、様々な顧客ニーズに応える形となりました。

また、中国の連結子会社において、販促・プロモーションに力を入れる自動車メーカーからの大型スポット業務、既存顧客である精密機器、化粧品、電気機器メーカー等からのスポット業務など、期初の予想を上回る受注を獲得するなど、前期と比べ売上・利益ともに大幅な増加となっています。

その結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は 6,591 百万円、営業利益は 819 百万円、経常利益は 810 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 439 百万円と当初予想をそれぞれ上回りました。

(個別)

個別業績につきましても、連結とほぼ同様の理由であります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 配当予想の修正について

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
前回予想 (平成 28 年 10 月 14 日)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
今回修正予想				33 00	33 00
当期実績	—	0 00	—	35 00	35 00
前期 (平成 28 年 8 月期) 実績	—	0 00	—	33 00	33 00

修正の理由

当社の利益配分における基本方針としましては、株主の皆様方に対する安定した配当を継続していくだけでなく、将来の事業展開と投資計画のバランスをとりながら決定していきます。その上で、経営成績及び 30%程度を目途とした配当性向なども考慮し、株主への利益還元を実施いたします。

今期、業績が増益となり好調に推移したことを鑑み、平成 29 年 8 月期の期末配当金につきましては前回予想 (平成 28 年 10 月 14 日発表) の 1 株あたり 33 円を 2 円増配し、35 円とさせていただく予定です。なお、期末配当金につきましては平成 29 年 11 月下旬開催予定の第 47 回定時株主総会に付議させていただきます。

(注) 上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は、種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上